

アスリートに学ぼう②

【松江市立出雲郷小学校】

ねらい

調べ学習を通してパラリンピックへの興味・関心を高めるとともに、障がいやパラ競技への理解を深める。

いつ

令和2年12月4日（金）

どこで

松江市立出雲郷小学校 5-1・3-1 教室

だれが

5-1 児童 27 名、3-1 児童 26 名

なにを

○パラリンピック選手や競技に関する調べ学習の発表

概要

- ・パラリンピックの理念や価値を学ぶとともに、東京大会への興味関心を高める。
- ・スポーツを通して助け合う心や努力することの大切さを学ぶ。
- ・パラリンピック選手の生き方にふれ、目標をもって様々なことに挑戦する意欲を高め、最後までやり遂げようとする大切さに気付く。



ここで、クイズです…



聖火トーチ、すごいね！

総合的な学習の時間として、5年生一人ひとりがパラリンピック選手を一人選び、その選手が取り組んでいる競技、競技実績や夢などについて調べたことを紙芝居形式にまとめ、3年生へ発表した。5年生は、書籍やインターネットを活用して多くの情報を取捨選択し、イラストを加えたりクイズ形式にしたりして、3年生に分かりやすく丁寧な説明を心がけていた。5年生が、視覚障がいの水泳競技で使用される棒について「何という道具でしょう。」とクイズを出題すると、3年生がすぐに「タッピングバー」と正解を言い当てる場面もあり、両方の学年にとって学習してきた内容を確認する機会となった。5年生は「3年生が真剣に聞いてくれて、またパラリンピックについて知ってもらえて嬉しかった。」、3年生は「5年生の説明は分かりやすく、とても勉強になった。5年生のように発表できるようになりたい。」と感想を伝えあった。学習の最後には、パラリンピックの聖火リレートーチを間近で見ることで、パラリンピックへの興味・関心を更に高める機会となった。